



種苗会社の出品担当者と意見交換する宮本修会長 (右)

15社 食べやすい小型化狙う

「旬の野菜」出揃う

青果研神戸見本市

青果育種研究会(宮本 修会長)主催の平成23年度第135回品評見本市は6月18日、神戸市中央

ある野菜20品目を出品した。加えて農研機構野菜茶業研究所(野菜研)も参加して野菜を「カット販売に引き、食べやすい」との評価を得た。各品種の特長や栽培の仕方と注意点を、病害虫に対する

耐性と防除、収穫適期と日持ち、食味と栄養素などについて、出品業者たちは、来場の青果卸売業者と、熱心に意見交換し合っていた。時節柄スイカやメロンが、スイートコーンやエダマメとともに来場者の目を引いていた。丸種の3倍体の種なしスイカは「カット販売に引き、食べやすい」との評価を得ていた。野菜の小型化に取り組む種苗会社から、ハクサイ、チンゲンサイなどが出品された。チンゲンサイは、株ごと使用できる(トキタ)

る耐性と防除、収穫適期と日持ち、食味と栄養素などについて、出品業者たちは、来場の青果卸売業者と、熱心に意見交換し合っていた。時節柄スイカやメロンが、スイートコーンやエダマメとともに来場者の目を引いていた。丸種の3倍体の種なしスイカは「カット販売に引き、食べやすい」との評価を得ていた。野菜の小型化に取り組む種苗会社から、ハクサイ、チンゲンサイなどが出品された。チンゲンサイは、株ごと使用できる(トキタ)

大きめで、そのまま中華街向け食材となるとPRしていた。会場の一角で開かれたセミナーは、東京テリカフーズの有井雅幸経営企画室長が講師。有井室長は「加工業務用野菜に望まれるもの、実需者の立場から」と題して話し、清場の喝采を浴びた。品目ごとの各社出品品種は、次の通り。

- △カボチャ
- ▽くり将軍(トキタ)
- ▽坊ちゃん(みかど協和)
- ▽くりゆたか? (同)
- ▽ダイクホース(渡辺探種場)
- △ナス
- ▽黒船(八江農芸)
- ▽スイートコーン
- ▽ランチャー82(タキイ)
- ▽サンニシヨコラ83

- △みかど協和)▽グラビ
- ス(雪印)▽ピュアホワイト(同)
- △キュウリ
- ▽光葉(きむら研究場)
- ▽光琳(同)
- △ピーマン
- ▽ピー太郎(タキイ)
- △ニンジン
- ▽れいめい(横浜種木)
- △ダイコン
- ▽晩タG(雪印)
- △エダマメ
- ▽湯あがり娘(カネコ)

- ▽赤姫(雪印)▽赤貫(同)
- △フロッコリー
- ▽スピードドーム05
- 2(みかど協和)
- △ニガウリ
- ▽えらぶ(八江農芸)
- △ハクサイ
- ▽娃々菜(トキタ)
- タイニージョッシュ(サカタ)
- △キャベツ
- ▽みくに甘紫(カネコ)
- △レタ
- ▽ハンサムグリーン

- (横浜種木)
- △タキイ
- ▽ちゃんこ葱(トキタ)
- △ルーコラ
- ▽ローマ(トキタ)
- △チンゲンサイ
- ▽シャオパオ(サカタ)

- △スイカ
- ▽味きらら(大和農圃)
- ▽満天星(同)▽ゴール
- ▽小町(同)▽怒ぼやし
- 777(萩原農圃)▽ほお晴れ(丸種)▽紅孔雀(ナント)▽サマーオレ

- △メロン
- ▽クインシー(横浜種木)▽フェリトチェ・マリッシュ(ナント)▽ミラノ夏1(八江農芸)▽パリス春II(同)